

## 令和2年度 体力・運動能力調査の結果について

5 学年を対象に行った体力・運動能力調査の本校の状況についてお知らせします。

種目毎に見ると、男子は 8 種目中2種目（握力、長座体前屈）で全国平均値を上回り、4種目（上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、50m走）で全国平均値を下回りました。女子は8種目中3種目で（握力、長座体前屈、立ち幅跳び）全国平均値を上回り、1種目（20mシャトルラン）で全国平均値を下回りました。

また、今年度から全学年で全種目の体力調査を行いました。全校的な傾向としては、どの学年も握力が全国平均値と同等か上回っており、2種目（20mシャトルラン、50m走）で全国平均値を下回る学年が複数見られました。

コロナ禍のため、体育の授業内容や休み時間の遊び方等、例年とは違う学校生活になりましたが、上記の結果をもとに、本校といたしましては、感染症対策を踏まえながら、走り方教室の開催や授業の導入で走力を高める運動を取り入れるなど、体育科を中心にした授業改善に努めるとともに、家庭や地域、関係機関と連携しながら、児童の生活習慣の見直しの働きかけを行いたいと考えております。

なお、本調査の結果につきましては、全国学力・学習状況調査の結果同様に「地域の学校教育の状況に関する説明責任」「学校・家庭・地域が連携して学校教育と家庭教育、地域の教育力の相互努力による体力向上の取組の一層の充実」という観点から、全国平均値と本校の平均値を比較したグラフを下記に示しました。

しかしながら、体力や運動能力等に関する調査では、「実施上の条件の差異」が見られることから、単に数値だけでは判断できないことをご理解いただきたいと思います。

